

山田錦プロジェクト2020

グランプリは福岡県朝倉市 株式会社ウイング甘木

生産者通信

(有)エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)



エコ・ライス新潟で、「山田錦プロジェクト2020」YouTubeライブ配信を見つめる協議会幹部ら



1月23日(土)午後1時より、グランプリの発表がYouTubeのライブ配信で行われました。新潟県山田錦協議会では、岩淵会長ら幹部がエコ・ライス新潟に集まり視聴しました。

グランプリは福岡県朝倉市 株式会社ウイング甘木

福岡県の中南部、筑後地域に位置し、8名の専従者で水稲90ha、麦120ha、黒米10ha、赤米4ha、モチ米15haに加えて園芸を栽培。
山田錦の作付けは26ha。地域の中核組織として若手従業員を多数雇用。

株式会社ウイング甘木のホームページ
<http://wing-amagi.com>

出品レベル急上昇のなか 断トツの品質

昨年12月3日の予審を見学した際に一目見て他の出品と比べ断トツの品質の高さに驚きましたが、60俵を審査した結審でも品質が統一されていました。準グランプリは、昨年度のグラン



グランプリの山田錦

プリの栃木県(株)山田錦栽培研究所が受賞。予審通過8件のうち実に6件が栃木県。旭酒造は、令和2年産で約13万2千俵の山田錦を集荷。35年前には山田錦の使用は0俵で山口県全体でも60〜70俵程度で、平成から令和にかけて急激に伸びています。

今回は全国から127件がエントリーし出品は63件、43件が予審に進みました。新潟県山田錦協議会で6件を出品4件が予審に進みましたが、残念ながら予審を通過できませんでした。令和3年産では予審通過をして結審に進みましょう！